

事業名：「認知症コミュニケーション×演劇」展開事業

団体名：一般社団法人豊岡アートアクション

1 事業内容

日時 2024年8月5日～2025年3月10日

場所 豊岡アートアクション事務所、五荘コミュニティセンター等

内容 認知症講演会の開催及び認知症冊子作成・配布及び関係者による作戦会議

【事業経過】

月 日	実施内容	場 所	参加人数
8月 5日	恩蔵絢子さんと打合わせ	オンライン	2人
8月 10日	企画会議	事務所	4人
8月 22日	原稿チェック	事務所	3人
10月 4日	小冊子デザイン打合わせ	事務所	4人
1月 7日	恩蔵絢子講演会準備	事務所	5人
2月 1日	恩蔵絢子さんと協議	オンライン	2人
2月 2日	恩蔵絢子さんと協議	オンライン	2人
2月 9日	小冊子内容チェック	事務所	4人
3月 1日	小冊子納品	事務所	2人
3月 1日	恩蔵絢子さんと協議	事務所	7人
3月 2日	恩蔵絢子・認知症講演会	五荘コミュニティセンター	135人
3月 10日	今後の展開について協議	事務所	5人

2 事業の効果

(1) 団体（組織）内の効果

ア 小冊子の著者との対話を含む、認知症当事者と小冊子の制作過程、及び講演会において、新しい認知症観を含め、認知症に対する理解がさらに深まった。

イ 認知症がコミュニケーションの問題であるという従来からの認識に加え、コミュニケーションの基礎に本人と家族の関係性があるとの認識を深めることができた。

(2) 地域への波及

ア 講演会・冊子配布を通じて、新しい認知症観に対する理解が広がった。

イ 小冊子作成によって、アルツハイマー型認知症初期の段階での認知症への理解を深める可能性が広がった。

*小冊子『「アルツハイマー型認知症」と診断された方に、今伝えたいこと』（当事者向け）と『「アルツハイマー型認知症」と診断された方のご家族に、今伝えたいこと』（家族向け）はそれぞれ350部印刷し、当事者・家族、関係機関等に無償で配布。

3 協働の相手方

医療・介護・行政・地域・演劇関係者の関係者間で、コミュニケーションの基礎に本人と家族の関係性があるとの認識を深めることができた。別途進めている「認知症コミュニケーション×演劇」ワークショップ・プログラムの制作は遅れ気味であるが、当事者と家族の関係性を再構築する内容にすることで方向性が固まってきた。

4 今後の課題等

(1) 団体（組織）活動を継続するための工夫等

ワークショップ・プログラムの制作と、それを普及するための行政・地域関係者との協働の仕組みの構築

(2) 地域活動を拡大していくための工夫等

ア 実効性のあるワークショップ・プログラムを制作し、関係介護施設等で実演し、効果を実感してもらうこと（健常者家族によるワークショップ試演会は実施済み）。

イ 地域への展開を図るため、市等行政との連携を取ることを。



7年3月1日 完成した小冊子



7年3月2日 恩蔵絢子講演会



7年3月2日 恩蔵絢子講演会



7年3月2日 「認知症コミュニケーション×演劇」
ワークショップ試演会報告